

案件概要書

2016 年 2 月 23 日

1. 基本情報

- (1) 国名：バングラデシュ人民共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名
ダッカ都市圏（ダッカ県、ガジプール県、ナラヤングンジ県、ノルシンディ県）
- (3) 案件名：ダッカ都市交通整備計画（1 号線及び 5 号線）（Dhaka Urban Transportation Development Project (Line 1 and Line 5)）
- (4) 事業の要約：
本事業は、ダッカ都市圏において MRT1 号線及び 5 号線を整備することにより、ダッカ都市圏内の輸送需要への対応を図り、もって同国の中所得化に向けた、全国民が受益可能な経済成長の加速化に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国における都市開発セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け
バングラデシュの首都ダッカは、1990 年から 2014 年にかけて人口が 662 万人から 1,698 万人まで増加しており（国連統計局）、人口増に伴う急激な交通需要増大が慢性的な交通渋滞、大気汚染等を引き起こしている。これにより年間 3,868 百万米ドルの経済損失（2013 年。水資源開発庁他）が発生する等、経済社会活動が阻害されている。

同国政府は、本課題の解決に向けて、都市交通マスタープラン「ダッカ都市交通戦略計画」（Strategic Transport Plan。以下、「STP」という。）の改訂を進め、公共交通網として大量輸送システム（Mass Rapid Transit。以下、「MRT」という。）5 路線及びバス高速輸送システム（Bus Rapid Transit。以下、「BRT」という。）2 路線の整備が計画された。本事業は、市内中心部とダッカ東部の新興住宅地を接続する MRT1 号線及びダッカを東西に繋ぐ MRT5 号線の整備を行うものであり、交通需要、事業性、環境社会配慮等の観点から、現在整備中の MRT6 号線と共に優先事業として位置付けられている。

- (2) 都市開発セクターに対する我が国の協力量針等と本事業の位置付け
対バングラデシュ人民共和国国別援助方針（2012 年 6 月）における重点分野の一つ「中所得国化に向けた、全国民が受益可能な経済成長の加速化」の下に、開発課題「都市開発」、協力プログラム「都市開発プログラム」が定められ、交通機関の多様化に留意しつつ運輸・交通インフラを整備し、人とモノの効率的な移動を促進するとしており、本事業は同方針に合致する。

JICA は、過去に都市鉄道の法制度整備を支援する目的で「ダッカ都市高速鉄道実施体制強化支援専門家」（2010 年度、2011 年度）及び有償勘定技術支援「ダッカ都市交通法整備支援」（2013～2015 年度）を実施した。

- (3) 他の援助機関の対応

世界銀行は STP の策定を支援した他、BRT 3 号線（空港 - ジルミル間）の整備を目的とした「Clean Air and Sustainable Environment Project」を 2009 年から実施中。

アジア開発銀行（Asian Development Bank。以下、「ADB」という。）は、BRT 3 号線（ガジプール - 空港間）の整備を目的とした「Greater Dhaka Sustainable Urban Transport Corridor Project」を 2010 年から実施中。また、改訂 STP で提案された MRT に対し、協調融資を含む最大 1,000 百万米ドルの支援を見込んだ支援を準備中。

（４）本事業を実施する意義

本事業は、同国の開発課題及び開発政策に合致しており、我が国及び JICA の協力量針・分析とも整合するものである。また、大量輸送システム整備では日本の高度な技術の活用可能性も高く、本事業の実施を支援する必要性及び妥当性は高い。

３．事業概要

（１）事業概要

① 事業の目的

本事業は、ダッカ都市圏において MRT1 号線及び 5 号線を整備することにより、ダッカ都市圏内の輸送需要への対応を図り、もって同国の中所得化に向けた、全国民が受益可能な経済成長の加速化に寄与するもの。

② 事業内容

- ア）鉄道構造物建設（全長約 43 km、うち 1 号線 27 km、5 号線 16 km）（高架鉄道施設、地下鉄道施設、駅舎建設、軌道敷設等。）（国際競争入札）
- イ）車両基地建設（土地整備、車庫建設、引き込み線敷設等）（国際競争入札）
- ウ）車両調達（国際競争入札）
- エ）電気・信号システム敷設（国際競争入札）
- オ）コンサルティング・サービス（詳細設計、入札補助、施工監理、運営維持管理指導、環境社会配慮等）（ショートリスト方式）

③ 他の JICA 事業との関係

有償勘定技術支援「ダッカ都市交通戦略計画改訂プロジェクト」（2014 年～2016 年）にて STP 改訂を支援中。また、円借款「ダッカ都市交通整備計画」（2013 年承諾）にて 6 号線の整備及び実施機関の運営・維持管理体制の構築を支援中。その他、本事業で建設する MRT には IC カード料金システムを導入する見込みであり、技術協力プロジェクト「ダッカ市都市交通料金システム統合のためのクリアリングハウス設立プロジェクト」（2014 年～2017 年）にて IC カードの決済に向けた関連制度設計を支援中。

（２）事業実施体制

① 借入人

バングラデシュ人民共和国政府（The Government of People's Republic of Bangladesh）

② 事業実施機関／実施体制

ダッカ都市交通会社（Dhaka Mass Transit Company Limited。以下、「DMTC」という。）

③ 他機関との連携・役割分担

5号線はADBとの協調融資（パラレル）で実施予定。なお、1号線は単独融資で実施する予定。

④ 運営／維持管理体制

DMTC（詳細は協力準備調査にて確認する。）

(3) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 ☒A ☐B ☐C ☐FI

② カテゴリ分類の根拠：

本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）に掲げる鉄道セクター及び影響を及ぼしやすい特性に該当するため。

(4) 横断的事項：協力準備調査にて確認する。

(5) ジェンダー分類：ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

(6) その他特記事項

質の高いインフラ投資実現に向けた日本の高度な技術（シールド工法、給電停止時の緊急システム等）を導入できる可能性がある。

4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

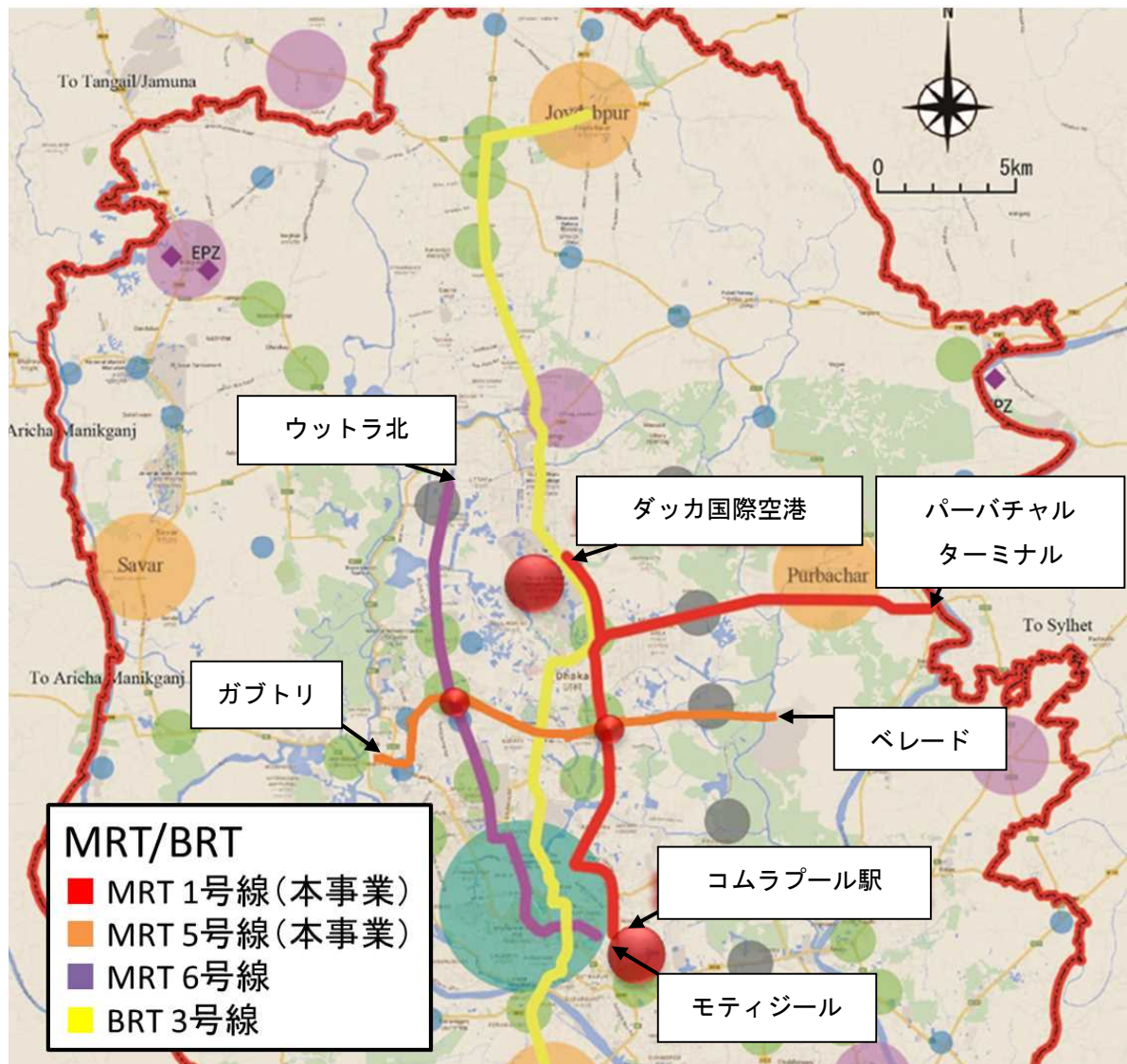
対インド円借款「デリー高速輸送システム建設計画」の事後評価等から、①交通モード間の連携の重要性、②鉄道事業の初期投資回収のためには営業外収入の検討が重要との教訓を得ている。

上記教訓を踏まえ、本事業においても①、②に対してそれぞれ、事業形成段階からバス公社との連携や財務の先方政府負担分、沿線開発等による営業外収入について検討する。

以 上

[別添資料] 地図

ダッカ都市交通整備計画（1号線及び5号線）地図



路線	区間	総延長	総駅数
1号線	空港～コムラプール／パーバチャルターミナル間	約 27 km	16 駅
5号線	ガブトリ～ベレード間	約 16 km	12 駅
6号線（整備中）	ウットラ北～モティジール間	約 20 km	16 駅